

中央情報センターニュース

NO. 19

2003年 12月 24日

厚労省が2校の開講を承認

本日（12月24日）夕刻、厚生労働省は来年度の看護師等養成所の開校申請の承認を発表しました。2年課程通信制については、福岡看護専門学校（定員 250 名）と別府大学附属看護専門学校（定員 150 名）の2校が承認されました（養成所の詳細は次号に掲載）。

栃木については、一部問題があったようで、先週中に申請を取り下げ、再度 2005 年開設に向け調整中の模様です。また、山口の1校については、まだ審査中とのこと。

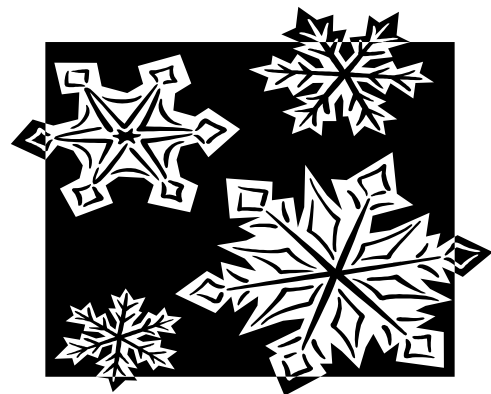
なお、2005 年春開設の申請は来年 1 月中ですが、現在のところ 7～8 校しか確実視されていません。希望者全員の受講を保障する養成所開設求める運動を徹底して強化していくことが必要です。

鹿児島県医労連

鹿児島情報センター発足！

鹿児島県医労連は、11月30日に「2年課程通信制」の学習会を行い、当日情報センターを発足させました。会場には、予定を大きく超える190名の参加者があり、資料や椅子を出したり、おおわらわの事態となりました。県看護協会からも参加がありました。

情報センターは、20県（石川、岡山、京都、愛知、千葉、福島、宮城、奈良、山陰、神奈川、岩手、熊本、新潟、福岡、長崎、大阪、長野、東京、大分、鹿児島）になりました。

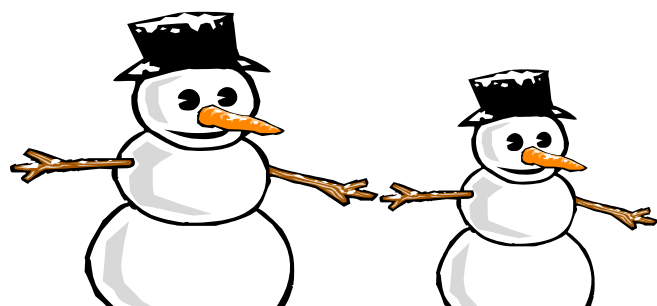


和歌山県医労連

来春に知事と懇談！

木村県知事が、県医労連とはじめて懇談することになりました。県医労連は、「准看護師の2年課程通信制の早期開設を求めて」署名運動に取り組んでいました。

村岡キミ子県会議員（元和歌山日赤看護師）に協力していただき、1月15日（木）に会うことになりました。当日、署名を手渡し学校の開設を要望するとともに、現在取り組んでいる「看護師のメッセージ」を渡して、看護職員の増員についても訴えたいと考えています。



福岡県医労連

県「看護の資質向上でも通信教育は有効！」

10月15日、「通信課程の円満な実施」を求めて、県交渉を行いました。県医労連から、5項目の要求書を提出していましたが、県はその要求にそって説明を行いました。

県は「法改正がされてから医師、看護協会、学校へその旨の要請書を出した。16年4月からの開校希望が1校あった。一部改正については説明会を行った。通信教育は国が示したものに従って行っている。看護の資質向上の点でも、通信教育は有効手段だと思っている」

質問に対する具体的回答では、

受講者数は250人以上×2学年

県外からの受講者希望者も制限は加えられていないので可能だと思う。

面接授業は、基本的には養成所だが、県外からの希望があれば養成所の判断でできると思う。

実習指定病院は、養成所が病院へ要請することになるが、県外で必要なら、養成所に申し入れれば、県外も可能だと思う。縛りはない。

働きながら2年間で35日出席するためには、各施設の配慮がいるだろう。

県内の就労准看護師23,876人、内10年以上の経験者は約1万人。1学年250人の定員では相当な年月がかかる。複数の設置申し出があれば、国へ手続きする。

国は半分、県が半分となっている。それ以上の県独自の補助金の予算化は今のところ考えていない。

よりよい移行教育の実現めざす岡山の会

放送大学 集団学習で乗り切ろう！

放送大学の認定試験対策学習会を牡蠣の日程で予定しています。11月に開いた指導問題対策学習会には、40名を超える方が参加をしました。

今回は、全員が単位を取得できるようにと、「本番試験対策」として開催するものです。

2004年1月18日（日曜日）

認定試験問題対策です。

【科目による時間割】

看護学概説... 9:30～11:30

人体の構造... 12:30～14:50

疾病の成立... 15:00～17:00